

そらだ添田に行こう

オープンスクール in 添田町

（グループ）

佐賀大学 山下 翔平

九州工業大学 山口 裕樹

大分大学 高林 雄輔

宮崎公立大学 山口 亜里紗

概要・コンセプト

添田町のことを知ってもらい、かつ実際に観光に来た際に役に立つアプリケーション

- ゲーム機能
- ガイド機能
- レシピ機能
- レビュー機能

提案理由

若年層を中心にスマートフォンが普及

スマートフォン向けのアプリはいつでも、どこでも利用できる

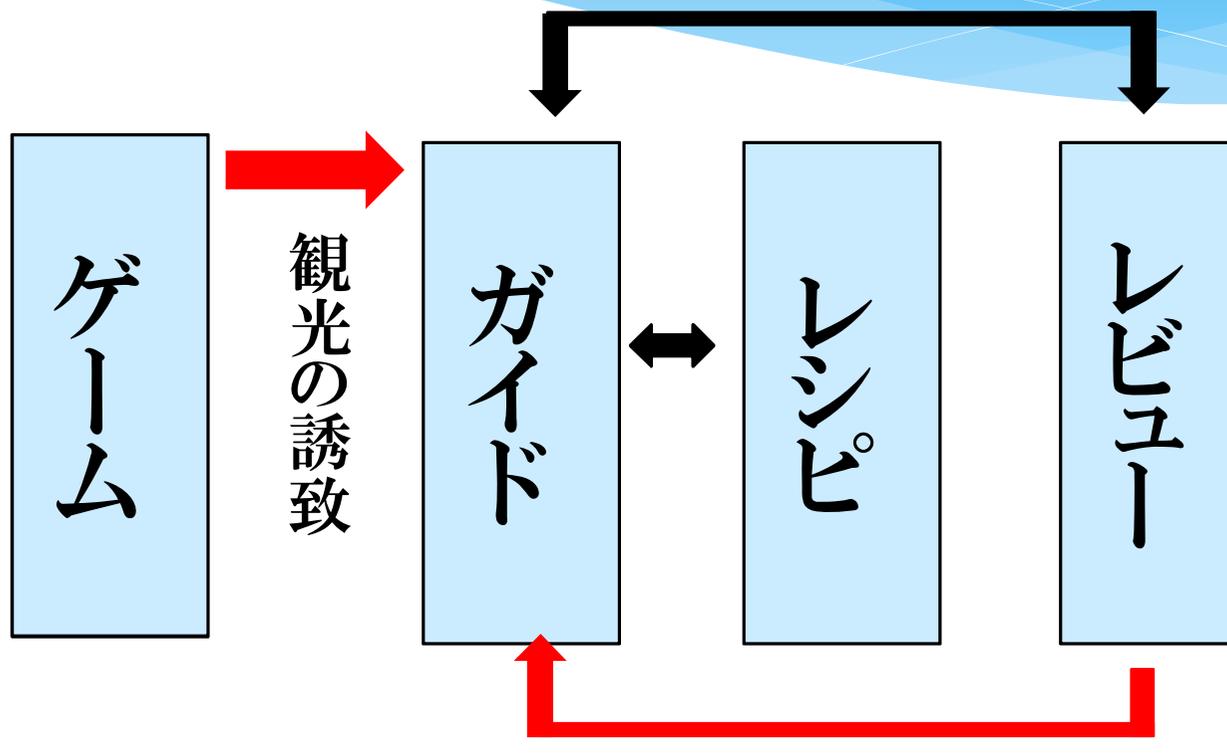
アプリの通知機能を使ってイベント情報を流せる

利用対象ターゲット

若年層及び主婦層

TVなどで取り上げられるくらいにするには外せない層

システム構成



アプリケーション

イメージ図(メニュー)

画面

ゲーム

ガイド

郷土料理
レシピ一覧

レビュー

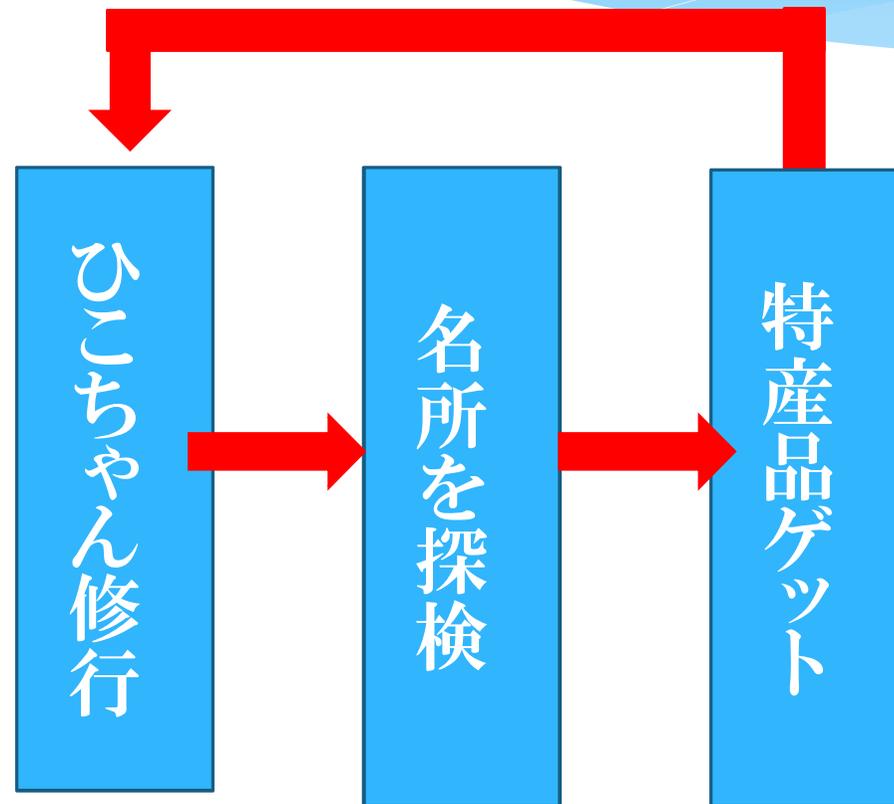
ゲーム機能の目的

若年層にとって親しみやすいゲームという形で添田町についての興味をもってもらい観光につなげる

ゲーム機能案(1)

- ゲームの舞台は添田町
- プレイヤーはひこちゃんを操作して修行を積む
- ひこちゃんのパラメータ(体力、知力、精神力など)が一定以上になると様々な名所を探検できるようになる
- 特産品をGETして特産品図鑑を埋めていく

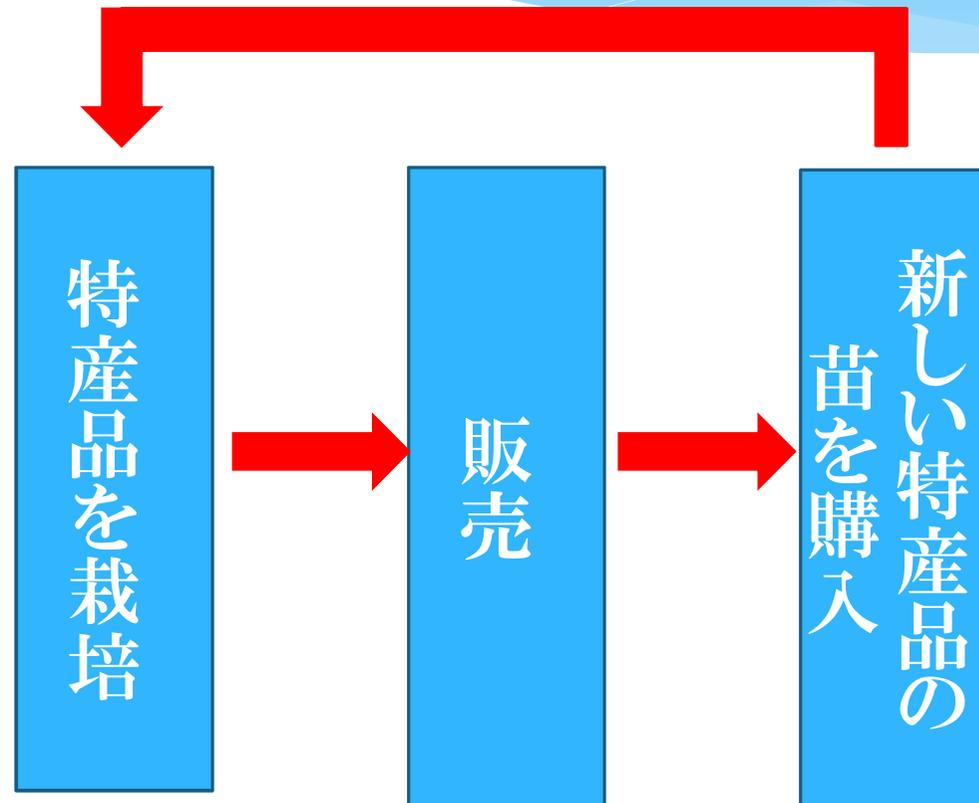
ゲームの流れ(ゲーム1)



ゲーム機能案(2)

- * 就農実践塾に絡めた栽培系のゲーム
- * プレイヤーは添田町に来て農業を営む
- * 特産品を栽培して販売
- * お金を集めて次の特産品の苗を買う

ゲームの流れ(ゲーム2)



ガイド機能の目的

実際に添田町に来た時に、添田町を満喫してもらうための案内機能

添田町の魅力を限られた時間の中でも確実に体験できるように支援する

ガイド機能

- * GPSで現在地表示
- * 道案内機能付き
公共機関の乗り換え情報も載せる
- * 疑似観光してもらおう
気になる場所をタップするとムービーが流れる
- * いくつかのポイントではリアルタイムの映像配信

イメージ図(ガイド)

拡大/縮小可能

画面

施設名称:勸遊舎ひこま
説明:町の自慢が勢ぞろい
特産品:~

[山伏弁当](#)

料理名をタップすると
レシピへ



レシピ機能の目的

添田の特産物を使った料理のレシピを載せることで、特産物の購入・消費を促す

レシピ機能

- * 添田町の特産を使ったレシピを載せる
- * 材料のうちで添田特産のものをタップすると通販サイトにジャンプ
- * 例:いちじく「とよみつひめ」を使ったお菓子

イメージ図(レシピ)

画面



レシピ中の特産物をタップすると通販ページへ

レシピ表示
材料と作り方

イメージ図(郷土料理一覧)

料理のサムネイル

料理名

料理名をタップすると
レシピへ

料理のサムネイル

料理名

⋮

導入効果

ゲームにすることで若年層に興味を持ってもらえる

実際に案内することで、町の魅力を知ってもらう

レビューがつくので次の観光客が参考にでき、次の確保につながる

課題・問題点

このアプリをどうやって知ってもらうか

→Twitter、FacebookなどのSNS活用

→アプリマーケットでの認知度を上げる

まとめ

- * 添田町と特産物を知ってもらうためのアプリケーション
- * ゲーム：観光誘致・興味をもってもらおう
- * ガイド：添田町を効率的に観光できるようにする
- * レシピ：郷土料理を食べ、特産品を買ってもらおう
- * レビュー：新たな観光客の参考となる

番外編

システムに関係ない部分でのアイデア

体験を通して

- * 農業体験

中学生・農業高校生・大学農学部生

- * アプリの紹介をする

- * お土産を持たせる(ターゲットはお母さん)

- * 中学生は総合的な学習の時間を使う

街頭試食

- * 実際に食品を食べてもらう
- * アプリの案内
- * 特産品の紹介
- * 子供が知っていると買ってくれるかも

特産品の活用

例

- * ゆずこしょう味のめんべい(ゆずべい)
- * 添田町で作ったジャムを使ったパンを作る
福岡市内のパン屋さんとコラボ

映像配信

- * 桜・紅葉の状態をUst配信
- * お花見・紅葉狩りのお供にバナナようかん

そのほか

- * 国家重要文化財のなかで郷土料理を食べる
中島家住宅、旧数山家住宅

